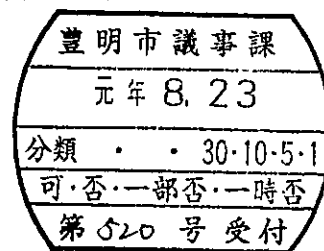


様式第2号

令和元年8月23日

豊明市議会議長 殿



行政等視察報告書

議員名 近藤 郁子

令和元年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年 月 日	視察先	視察項目及び成果等
令和元年7月30日	岡山県 高梁市	「豪雨復興計画」について 別添：報告書
令和元年7月31日	広島県 呉市	「国民健康保険事業の 医療費適正化」について 別添：報告書

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

岡山県高梁市 「豪雨復興計画について」

高梁市復興計画は、「平成30年7月豪雨災害」からの復旧・復興に向けて取り組むべき施策を体系的に定め、計画的に推進し、一日も早い復興を達成することを目的としている。

「平成30年7月豪雨災害(西日本豪雨)」

河川の氾濫などにより浸水被害や、山腹崩壊、土石流による土砂災害など甚大な被害を受け、未曾有の大災害となった。

■ 計画策定の趣旨

一刻も早い被災者の生活再建と被災地域の復興、地域産業の再生と発展を目指し、市民が安心して暮らし、働くことのできるまちづくりに全力をあげて取り組むことは最優先課題であり、限られた行政資源の効率的・効果的な配分と本格的な復旧・復興の推進を図ることで、将来に向けて希望と夢をもって安心して住み続けることのできる新しい復興ビジョンを示し、市の将来像の創造に繋がる復興計画を策定することとした。

■ 計画の位置付け

復興計画は、「高梁市新総合計画」(2010年度～2019年度)と連携、整合を図り被災前に戻すことを目的とするのではなく、市のさらなる発展の礎づくりを目的とした。市の基本構想を基に、基本計画を補完し、実施計画で復興を推進する。

- そのほか、長期的かつ災害の実態に即した財政支援および人的支援等を国、県及び各種関係機関との連携や、市民との協働を進め、それぞれの強みを生かす役割分担のもと一丸となり、取組状況の積極的な情報提供に努め、進捗点検・評価し、見直していく。

4つのプロジェクトをつくり、具体的な取り組みを行っている。

■ 豊明市で今後取り組みたいこと

① 防災ラジオの整備

高齢者でも情報収集が楽にできるアイテム。雨風で外からの情報が途切れることはない。

② 災害予想マップの作成

例えば、避難所までの経路でも、河川や浸水する地域がある。事前に周知することで被害を最小限にすることは必須事項。

■ 視察して

今まで経験したことのない災害が各地でおきている。対岸の火事にしては防災の意味はない。市民の安心安全には具体的な備えが必要。

広島県呉市 「国民健康保険事業の医療費適正化」について

呉市国民健康保険事業の取り組みは、加入者の高齢化率 57.0%、大規模病院の存在もあり、一人当たりの医療費が 45 万 9 千円(県の 1.13 倍、国の 1.28 倍)であるなどの背景をもとに始められた。

■ 呉市の計画・目標→健康寿命の延伸と国民健康保険の健全運営

↓

生活習慣病予防を柱とした保険事業の推進

①レセプトのデータベース化により、レセプト点検の効率化を図る

②個人の医療状況がわかることで他の保険事業推進につながる

- ・ 糖尿病性腎症等重症化予防
- ・ 重複・品会受信者の保健指導
- ・ 生活習慣病 2 次・3 次予防
- ・ 併用禁忌・回避医薬品の情報提供
- ・ 医療費分析・調査研究

③ジェネリック薬品使用促進を図る→切替効果が高いと思われる対象者に通知

通知継続で累計切替者数は増加し、現在では 88%が切替

累計薬剤費減額 1,633,119 千円(通知数 34,738)

通知コスト 電子化@20 円×100 万枚

■ そのほか、地域総合チーム医療では全てに 3 師会が関わって P D C A サイクルを行う

■ 当初、レセプトのデータベース化の導入には、コストが高く断念した経緯がある。その後、厚生労働省より医療費適正化対策として、ジェネリック薬品の利用促進が打ち出され、勧奨通知するためにもデータベース化は費用対効果があるものと考えられた。

■ 視察して...

大規模病院があることや、高齢化も含め、豊明市でも医療費適正化はもとより、保健事業の推進は、市民の健康で長寿には必要。

導入には、コストもかかるがその後の効果を考えると先行投資として考えるべきだと思う。

呉市のようにすでに費用対効果を上げている先進市のさまざまな例を勘案しながら、進めてもらいたい。